小倉総務大臣政務官が美波町を訪問

影治町長、サテライトオフィス関係者等と昼食をとりながら会話する小倉総務大臣政務官（右から２人目）

地方創生・ローカルアベノミクスの実行を担当している総務省より小倉総務大臣政務官が来町。

影治町長やサテライトオフィス関係者からサテライトオフィス設置の経緯や取り組みの状況について説明を受け、株式会社鈴木商店のサテライトオフィス「美雲屋」、地域交流促進施設「戎邸」や移住交流施設「やまさき」を視察しました。

また、地域おこし協力隊として活躍する若者たちとの意見交換、ランチミーティングも実施。

美波町の進めるサテライトオフィス誘致は日本の地域振興のモデルとなりつつあると、非常に高い評価をいただきました。

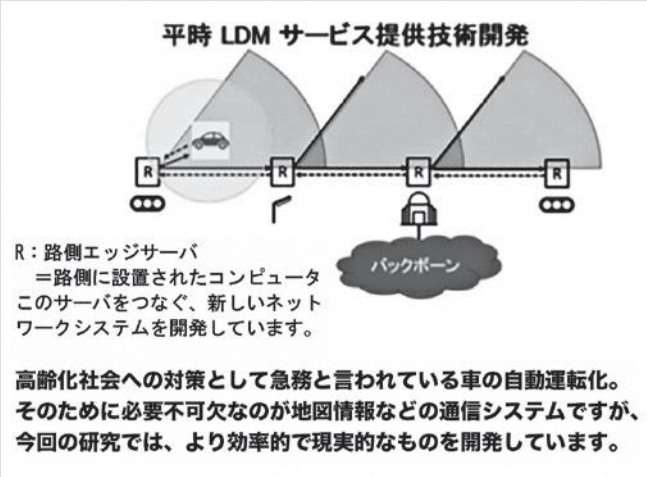
サテライトオフィス企業の先端技術が総務省の事業として採択されました

今年５月に美波町にサテライトオフィスを設置した株式会社スペースタイムエンジニアリングと大学との共同研究開発が、この度公募にて採択され、総務省の事業として進められることとなりました。

今回の研究は、平時、災害時を問わずに共用可能な独自の通信網を確立していくというものです。

平時には車の自動運転に必要不可欠な地図情報などを発信し、災害時には壊れてしまった既存の通信網に代わる機能を果たしますが、これにより被災地の孤立化を防ぎ、他地域からの救援・支援もより迅速に進められるというものです。

今後、美波町では実証実験が計画されており、暮らしの充実と災害対策を見据えた最先端の技術が、美波町からの全国の地域へ展開していくことも期待されています。



お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館１階
由 岐 地 区：由岐ふれあいホール（ぽっぽマリン２階）

リレーコラム11

子育ての応援団

美波町健康増進課　榊　一　美

生まれも育ちも美波町、住む場所も変わらず四十数年たちました。気づけば長男も成人し、子育てもほぼ一段落してきました。自宅からＪＲで大学に通う長男は、由岐駅まで歩いていることが多いようですが、近所の方に「よう挨拶してくれるんじょ。ええ兄ちゃんになったな。」とうれしい言葉をいただくことも…。思えば、彼がまだ一才にもならない頃、一昨日の夜は泣きっぱなしだったな。熱でもあったんけ。」と心配していただいたり、幼稚園や小学校の行き帰りに、海に気をつけるように声をかけていただいたり、本当に地域の皆さんに子育てを応援していただきました。

保健師として地域の子育て中のお母さんたちとかかわる機会も多いのですが、美波町で育つ子供たちの成長を応援できることをうれしく思っています。できれば、この美波町で、私の子供たちの子育ても応援していけたらいいなと思います。これからもよろしくお願いします。

次回は、TAISHI ARTWORKSの磯中太志さんにお願いいたします。

制作：美波ふるさと創造広報チーム